

子どもたちが住み続けたくなる地域づくり

杉沢観音『大わらじ奉納』



8年ぶり 上杉沢地区



地域が大集合

上杉沢地区に古くから祀られる杉沢観音堂に、長さ2メートルを超える大わらじが昔から奉納されています。これまで約10年ごとに取り替えられてきましたが、今年6月10日、11日の2日間、地域のお年寄りから小学生とボランティアなど約50人が集まり、8年ぶりの作り替えが行われました。



古いわら打ち機、子どもたちは珍しいものにすぐに飛びつく



材料のわらは余分なクズを取り除く、けっこう根気のいる作業

それぞれに役割がある

わら細工は、若い衆にはほとんどが初めての仕事。力仕事や根気のいる作業、お昼ごはんの準備など、人それぞれに得意な分野と役割があるようです。

守りたい心を育む

子どもたちが、無意識のうち、地域を守り、いつまでも地元に住み続けたいと思える心を育みます。



お昼の準備も最盛期。井戸端ネットワークもフル稼働中



数人掛かりでわら束に、よりをかけながら、大わらじを編み込む

地域の生きる力

地方創生。多くの支援策がありますが、補助金などには頼らない、伝統を伝える地域行事の中に、小さな集落が生き延びようとする力強さを見ました。



大勢が見守るなか、完成した大わらじは無事に奉納された



「いっぱい食べるなあ」